

平成26年度 五泉市学校保健部 活動報告

部長 齋藤 真希

1 研究主題

「児童生徒の健康管理能力の育成 ～メディアと上手に付き合うことができる児童生徒の育成～」

2 研究の概要

五泉市では、健康管理能力の向上を「生活習慣改善」ととらえ、自校の健康課題解決に取り組んでいる。過去に行った生活実態調査等により、早寝早起きを妨げる大きな原因として「長時間のメディア使用」に着目し、平成23年度からメディア使用を中心とした健康教育を実践してきた。25、26年度は、以下の仮説を立て取組を行っており、今年度は指導案の作成と授業公開を主とした実践を進めている。

<研究仮説>

メディアと上手に付き合うことができるようになれば、学習時間が増加し、入眠時間が早まる。

3 活動の実際

○ 研修会「実践的研究の取組と評価について」 平成26年6月25日

指導者： 県立教育センター 指導主事 森 和香子 様

○ 指導案作成と授業公開（小学校部は2グループを編成）

①上学年部授業公開「メディア大作戦（第4学年）」 平成26年10月22日

授業者： 五泉市立五泉南小学校 養護教諭 齋藤真希、 教諭 齋藤明子

会場： 五泉市立五泉南小学校

②下学年部授業公開「メディア大作戦（第2学年）」 平成26年11月11日

授業者： 県立五泉特別支援学校 養護教諭 小林真知子

会場： 五泉市立巣本小学校

○ 全小中学校一斉のアウトメディアデー実施 平成26年11月16日

※ 共通のカードと便りの作成（保育園等にも配付）

※ 市の広報へのPR記事掲載

○ 生活実態調査の実施

平成24年度の結果と比較・分析し、取組の評価に生かす。

○ 実践資料集の作成（共有化）



4 成果と課題

今年度は、児童の生活習慣改善のために、養護教諭としていかに保健指導をしていくべきかという点に焦点を当て研究を行ってきた。これまで五泉市では、養護教諭が授業公開をする機会を積極的に設けてはいなかった。今年度、まずは1授業の公開と考えていたところ、会員が皆積極的に取り組んだ結果、上学年と下学年2つの授業を公開することができた。発達段階に合わせた指導案を検討することができ、協議会でさらに改善点も見つかった。この結果を受け、来年度から各校で指導するにあたり、よりよい指導案での実践が可能になった。

課題は、授業後の実生活で、児童の生活習慣がどのように変化したのか評価する手立てを検討し、行動変容につながる保健指導を検討していくことである。